

公明こうち

市議会ニュース

発行所／高知市議会公明党
住 所／〒780-0870
高知市本町5丁目1番45号
TEL:088-823-9403
FAX:088-871-2485

2014年(平成26年)2月1日 第25号

高知市議会 NEW KOMEITO 公明党

第441回

高知市
議会
定例会

平成26年度の実施事業について
市民生活の向上に直結させるべく、活発な議論を展開



たかはし まさし 正志 議員



とらうち のりよし 寺内 憲資 議員

高橋正志議員は、「新地方公会計制度」「認知行動療法」「歩きたばこ禁止条例」「南海トラフ地震特措法」の4項目について質問しました。その内、「認知行動療法」について報告をします。(一部抜粋)

質問

自殺防止への有効治療として注目されている「認知行動療法」について「健康福祉部長」「健康推進担当理事」はどういう見識をお持ちでしょうか。

また「認知行動療法」の本県・本市における現状について伺う。

答弁 (健康福祉部長・健康推進担当理事)

「認知行動療法」は、「うつ病」になりやすい考え方の偏りを、修正していく精神療法の一つであり、平成22年には、医療保険が使えるようになったことは、画期的であります。

「認知行動療法」は、欧米では「うつ病」や「不安障害」などの治療において、抗うつ剤などの薬物療法と同等の効果があり、治療ガイドラインで選択肢の第位に上げられるなど普及はしていますが、わが国・本県・本市では十分に普及していない現状です。

質問

「認知行動療法」の普及啓発を、平成26年度より「自殺対策啓発事業」として実施すべきであると考えるが所見を伺う。

答弁 (健康推進担当理事)

本市では、これまで自殺者を減らすべく、市民や関係機関の支援者を対象に研修会や講演を開催して参りました。「認知行動療法」の普及啓発については、来年度の事業の中でも検討して参ります。

寺内憲資議員は、「問」答方式により次のとおり個人質問を行いました。
(詳細は寺内のりよしHPを参照してください。)

〈行政BCP策定と行政情報システムについて〉

寺内議員は海上保安庁で、防災の専門職として30年間働いてきた経験から、現在、市が外部委託している地域防災計画修正作業と高知市BCP計画(業務継続計画)策定作業について質問を行いました。民間会社に1359万円で委託していたことから、その委託内容が職員自らが行う作業であり、このままでは形だけのBCP計画になると、外部委託する手法を厳しく糾弾しました。

また、新庁舎建設に向けての行政情報システム整備に関しても、高知市議会公明党が要望していた外部有識者を中心とした情報システム検討委員会の設置は行わず、内部職員で検討を行うと透明性のない後ろ向きな答弁であったことから、市長に対し、行政の情報システムを検討する会であるので、行政経験のある國のITアドバイザーを加えるべきであると強く要望しました。

〈高知市中央卸売市場について〉

平成26年4月から高知市中央卸売市場は、水産物部は地方卸売市場青果部は中央卸売市場の併設市場として新たに出発することから、水産物部(鮮魚部・塩干部)が地方卸売市場に移行する経緯と、今後の併設市場としてのメリット・デメリットを確認すると共に、今後は市として重点戦略を定めた市場マスター・プランを策定し、市場関係者に進む方向性を示すべきであると市長に迫り、市場経営の重要性を求めました。

平成26年度 予算要望書を岡崎誠也市長に提出



高知市議会公明党は、11月27日に、平成26年度の予算編成に向けた要望書を岡崎誠也市長に提出しました。

この要望書は、部局ごとに要望をまとめ上げ、全部で123項目240細目の内容になりました。そこで、岡崎市長には、本市が進める大規模事業計画や南海地震対策など、今後の財政見通しと、事業の厳正な選択と優先順位づけなどについても提言し、わが会派として、今年新たに加えた喫緊の課題についても意見交換を行いました。

今後は、市民ニーズに即した行政運営が展開されるよう、具体的に提案して参ります。

新春街頭

公明党高知市議団は、新春の買い物客でにぎわう高知イオン前にて、街頭演説を実施しました。また、12日には、高知県民体育館にて開催された成人式に集われた新成人の皆様を前に「成人の日記念街頭」を実施し祝福のエネルギーをおくりました。



1月2日(木) 高知市イオン前にて

お知らせ

高知市生活支援相談センター が開設しました

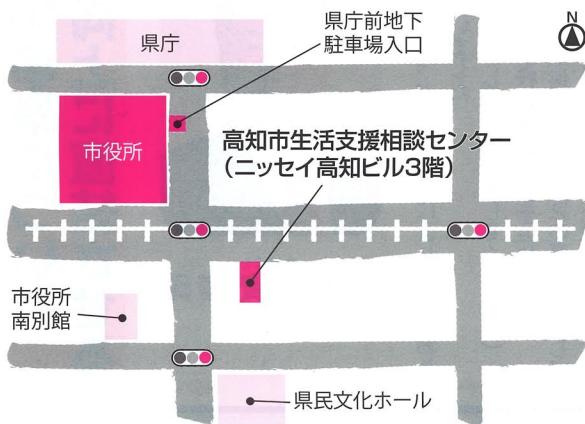
日常生活に困窮した市民への相談窓口として「高知市生活支援相談センター」が開設されました。



相談内容の例

- 生活が立ち行かなくて困っている。
 - 今後生活が困窮する可能性がある。
 - 就職がなかなかできず困っている。など

※駐車スペースおよび駐輪場スペースがありませんので、県庁前地下駐車場および市役所駐輪場をご利用ください。



相談事例を参考に、是非ともお気軽にご相談ください。

●所在地 本町4-2-40 ニッセイ高知ビル3階
☎ 856-5529、FAX 856-5549

●業務時間 月～金曜日の8時半～17時15分
(土・日曜日、祝日、12/29～1/3を除く)

想像でできることは
対策できます。自助
共助・公助の役割を明
確に、住民の皆様との
連携を強固にしながら、
防災対策をさらに進め
てまいりたいと思いま
す。(白桃)



[受付時間] 朝8時～夜7時 年中無休

[F A X] 088-822-8211

[Eメール] callcenter@faq.city.kochi.kochi.jp

昨年12月、防災士の試験が行われました。この防災士は、一定の知識と技能を修得したことを「日本防災士機構」が認証する民間資格で、防災リーダーの輩出のために、県や高知市が推進している事業です。

市民の皆様の意識も高く、年度当初の目標をはるかに上回る約300名の防災士が誕生し、高知市議会公明党でも地域防災の率先进垂範をめざし、受験した4名全員が合格しました。

受験に際し、「災害の一日前に戻れる」としたら、あなたは何をしますか?との問い合わせに出会いました。これは「一日前プロジェクト」といわれるもので、内閣府が推進する災害被害を軽減する国民啓発運動です。「まさかこの道が寸断されるなんて!」「被災者の助言、耳を傾けながら、折に触れ、想像力を鍛える作業が何より大事ではないかと痛感しました。

想像できることは、対策できます。自助・共助・公助の役割を明確に、住民の皆様との連携を強固にしながら、防災対策をさらに進めまいりたいと思います。

 NEW KOMEITO
公明党